



釜石シーウェイブス RFC

サポーターの皆様

スポンサー・パートナー・法人サポーター支援企業各社の皆様

関係各位様

この度の東日本大震災に際し、たくさんのご心配をおかけしましたこと、さらには、なかなか、こちらの様子をお知らせ出来ずにおりましたこと、まずもってお詫び申し上げます。

釜石市街地の惨状は、ようやく復旧の途に就いたところであり、お身内を亡くされた方々、家を失われた方々と、まだまだ悲しみを脱するまでには至りません。

今は、街中の人々、地域中の人々が、絶え間のない多くの困難に耐えて、明日に向かって歩き出しておられます。

弊釜石シーウェイブス RFC は、これまでの 10 年間で、まさに、この地域の皆様に支えられて歩んで参りました。次なる 10 年を歩き出そうという矢先に、この自然と慈しみに溢れる釜石をはじめとする地域一帯を襲った災難でした。

震災直後、選手一同とその家族の無事を確認し、ライフラインのストップする期間は、松倉グラウンドにある釜石シーウェイブス RFC クラブハウスに、幼子を抱える選手家族を中心に避難して、健康の維持に努め、チームがひとつになって命を支え合いました。

被災者の援助活動が始まると同時に、選手各自が自主的にボランティア活動に参加しました。日頃お世話になってきた地域の皆様への、わずかながらでも恩返しが出来ればという気持ちでしたが、厳しい現実を眼前にしながらも、市民の皆様や自衛隊の皆様の援助活動を手伝う共同作業から学ぶことは多かったです。

また、岩手県内外のラグビーチームをはじめとした近隣の皆様より、様々な物資の差し入れを賜り、幸いにも物心両面で不足することは無かったです。改めまして支援内容を表しまして御礼させていただきたいと思いますが、ラグビースピリットの真骨頂を、身をもって実感いたしました。支援物資をいただいた皆様に心より感謝を申し上げます。

現在、チーム活動スケジュールを組み直し、一旦は各選手個々のトレーニングに戻したいと考えております。選手には、被災者援助活動を続ける者、所属企業の業務回復に励む者、出身地に戻る者、家族の世話をする者と各々おりますが、それぞれ各人がコーチ、トレーナーの指標に基づくパーソナルトレーニングを継続いたします。再集合日は、5月からを予定し、チームトレーニングを再開したいと思います。

スケジュール、新体制の発表につきましても追ってお知らせ申し上げますが、優先される街の復旧、地域の回復を前提にして、各処と相談の上で調整を行いまして、クラブ活動をつないでいく所存でおります。ラグビー仲間であるチームや団体からの、ありがたい地域へのご支援につきましても、個々に対応いたしまして、ラグビースピリットが被災地に届くよう努めて参ります。

どうぞこれからも弊釜石シーウェイブス RFC にご厚情を賜り、応援をいただきますようお願いをいたしまして、まずは略儀ながらお見舞い御礼を申し上げます。

平成 23 年 3 月 25 日

釜石シーウェイブス RFC
理事長 佐々木傳十郎
ゼネラルマネージャー 高橋善幸
事務局長 増田久士

なお、事務局をクラブハウスに仮設いたしました。

アドレスは、

〒026-0055

岩手県釜石市甲子町第 10 地割 159 番 12

松倉グランド釜石シーウェイブス RFC クラブハウス
です。

クラブ宛のメールは、

ksw.masuda.hisashi@w7.dion.ne.jp

まで、お願いします。

また、チームに関するお問い合わせは従来通り主務仲上太一が対応させていただきます。

ksw.nakagami.taichi@y3.dion.ne.jp

以上、よろしく願いいたします。